

# 女夫石遺跡発掘調査速報

## No.35

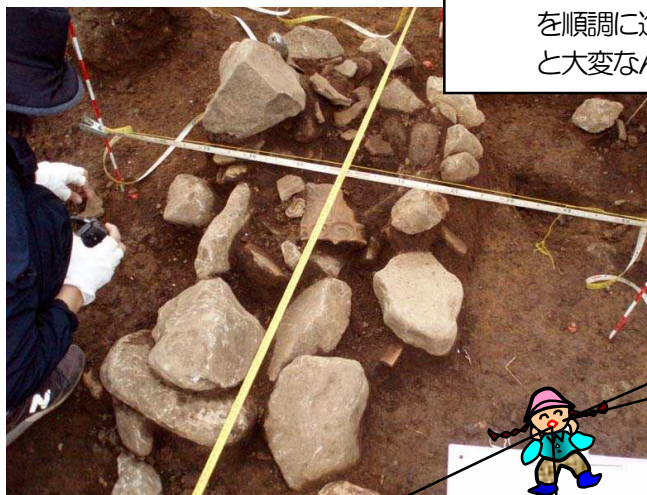
今回は、発掘調査の仕事の一つ、「図面を書く」を紹介します。発掘というと、スコップで地面を掘るだけというイメージかもしれませんが、それでは何も遺跡のことを後世の人に伝えることはできませんよね。何がどんな風に出てきたのかを写真に撮ったり、図面に書いたりする必要があります。時間はかかるけどとても大切な発掘の仕事の一つなのです。



ジョレンやスコップを持っていないね、方眼用紙に女夫石遺跡からでてきた土器や石器を図面に書いているみたいだよ。

何のためかはすぐにはわからないけど、何か意味があって、女夫石縄文人は石や土器を穴の中に埋めたりしたはずですよ。女夫石縄文人の習慣などを今後調べていくためにも、石や土器がどのような状態で発見されたのかを記録にとることは大切なことなのです。

先人達の残したものを記録にとって、分析し、伝え、活用するのが、発掘調査なのです！！



上の写真は石や土器がまとまって発掘されたところです。これを図面にすると右の写真のようになります。絵心がないと図面は上手く書くことができません。経験がモノをいう仕事です！！それにしても皆さん図面が上手です～。

ズリ：いつもと違う仕事をしている人たちがいるよ。何をしているんだろうね？

マキ：土器や石器の出てきた状態を図面に書いているみたいだね。

ズリ：でも、何で図面を書くのかな～？

マキ：土器や石器が遺跡から出てくるのは女夫石縄文人が何かしたからだよ。だから、どんな風に土器や石器が出てくるのかをきちんと調べる必要があるんじゃないかな。そのために図面を書いているんだよ。

ズリ：そうだね。穴の中にどんな風に土器や石器を入れたのかどうかとかを他の遺跡と比較したりすれば、女夫石縄文人の特徴の一つが分かってくるかもしれないもんね！

マキ：それにしても、みんな上手に図面を書くね。石器や土器の雰囲気（ふんいき）がよくでているもんね。さすがだね～。

ズリ：発掘って、掘るだけかと思っていたけど、図面を書いたり、写真を撮ったり、機械で土器や石器を取り上げたり、いろいろなことをしなければならぬんだね。

マキ：それに、発掘調査の後にする発掘された土器や石器などを整理する仕事を順調に進めることも考えて、発掘調査もしなければならぬから意外と大変なんだってさ！（つづ）

これからの季節は寒くて、掘るのも大変だけど、図面を書くのも手がかじかんで大変なんです！ハケ岳おろしの日には画板が飛ばされないように力をいれなきゃいけないしね。発掘調査は結構、過酷（かこく）なのです！

